



訪問しました!

こうべ男女いきいき事業所

イケア・ジャパン株式会社 IKEAポートアイランド

今回は、平成20年度の「こうべ男女いきいき事業所」に表彰されたイケア・ジャパン株式会社IKEAポートアイランドを訪ねました。IKEAは1943年にスウェーデンで創業したホームファニシングの世界的チェーン。ポートアイランドには昨年4月にオープンしました。広大な面積を誇る新たなショッピングスポットとして人気を集める一方、ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティの充実ぶりでも注目されています。

イケア・ジャパン株式会社IKEAポートアイランド

ルンド・ヤンネさん

ゆきひろあき
幸 宏彰さん



左からルンド・ヤンネさん、幸宏彰さん

配偶者の出産で男性にも特別休暇

IKEAポートアイランドでカスタマーサービスを担当する幸宏彰さんと、法人向けビジネスのプロジェクトマネージャーを務めるルンド・ヤンネさん。お二人は昨年相次いで、お子さんの誕生に合わせた特別休暇を取得しました。配偶者の出産時に15日間の有給休暇を取ることができる同社独自の制度です。

「初めての子どもだったので、この制度があって本当に助かりました。子育てに最初からきちんと関わられたので、妻も心強かったようです」と、幸さんは振り返ります。一方のヤンネさんは特別休暇に年次有給休暇をプラスして、上のお子さんのケアを中心に新しい家族との時間を楽しく過ごしたそうです。

もともと同社では、育児休業に加えて産前産後休暇が最大9カ月取得できる制度を正社員・パートタイマーの雇用形態に関わりなく導入。子どもが12歳になるまでの看護休暇も年間12日間取得できるなど、子育てと仕事の両立を全面的に支援してきました。幸さんとヤンネさんが取得した特別休暇もその延長にあります。

休暇を取る前には各部署で仕事を調整。気持ち良く協力し合う環境が整っているそうです。

「休みを取る分、仕事の時は効率を考えながらしっかり働く」と



IKEA ポートアイランド 外観

いう切り替えが大事。家族と過ごす時間が充実することで、仕事も頑張れます」とヤンネさん。育児の経験、そして家族と一緒に過ごすひとときが仕事へのモチベーションも高めていることが分かります。

意識も制度もワーク・ライフ・バランスを体現

お二人の隣りで「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティの充実は、採用活動においても大切な柱になっています」と話すのは同店人事マネージャーの下尾規美子^{しほのきみこ}さん。正社員とパートタイマー合わせて約360人が働く同店で女性が占める割合は7割近い。管理職も半数を女性が占めていますが、これは特に女性の登用を意図したものではないそうです。

「採用の際に男女を意識することはありませんし、社内の人事異動は、原則、「オープンイケア」と呼ばれる社内公募制度。ポストの空きに対して『やりたい』と手を挙げた人の中から選ぶシステムなので、性別や年齢、国籍は一切関係ないのです」と下尾さん。男性も女性もなく活躍でき、同時に家庭を大事にするしくみが整っている環境こそ同社の大きな特長といえそうです。

「IKEAには世界で12万7,800人の従業員がいますが、創業者はそのすべてが家族であり、家族の幸せこそがもっとも大事という考えを持っています。私たち従業員にもそれが浸透していますし、制度の土台になっているのもこうした考え方だと思います」と下尾さん。年間の所定休日127日に加え、年次休暇は初年度から年間15日。休暇を取っていない従業員には人事から声をかけ、年次休暇の100%消化を徹底しています。

一人ひとりが幸せな暮らしを営み、職場では自分の能力を最大限に生かして仕事をする。ワーク・ライフ・バランスを体現するそんな生き方、仕事の仕方が同社ですすでにスタンダードになっているようです。